

日農クレマート乳剤

[ブタミホス乳剤]

農林水産省登録 第17663号

有効成分 ブタミホス…50.0%

性状 黄色澄明可乳化油状液体

安全性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）
500ml×20 RACコード：除草[3]

危険物：4-2石-III

有効年限：4年

包装：

特長

- 一年生雑草、特にイネ科雑草に高い効果を示します。
- ガス作用が極めて少ない薬剤です。
- 土壌移行性が少なく、雑草の発生を長く（30～45日）抑えます。

効果、薬害等に関する注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。
- 本剤は雑草発生前処理の効果が大きく、雑草が大きくなってからの処理では効果が劣るので適期に処理する。
- 多年生雑草、キク科雑草およびツククサには効果が劣るので、それらが優占する圃場での使用はさける。
- 土壌が極度に乾燥している場合は効果が劣るので土壌が適度の水分を含んでいる時に使用する。又極度の過湿条件下では薬害のでることがあるので使用をさける。
- 砂質土壌では薬害を生じやすいので所定量の範囲内で少なめの薬量を使用する。
- 播種又は植付後は碎土、整地、覆土はていねいに行い均一に散布する。
- 作物の生育中に散布する際はできるだけ薬剤が作物にかからないように注意する。
- 定植前処理の場合、薬剤のかかった土壌が作物の根にふれないように注意して定植を行う。
- たまねぎに使用する場合、春先などの気温が高くなる時期の散布は薬害を生じるおそれがあるので十分に注意する。
- 秋播たまねぎの春季処理は、薬害を生じるので使用しないよう十分注意する。
- はくさいの場合、定植後に激しい降雨があると薬害を生じることがあるので処理時期に注意する。
- たばこに使用する場合、薬害を生じることがあるので、植付時に処理土壌が茎葉に接触しないように注意する。またトンネル栽培および改良畦面栽培では使用しない。
- 散布の際、付近の他の作物にかからないように注意する。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意する。
 - 1)ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにする。
 - 2)関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努める。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

安全使用上の注意事項

- 誤飲などのないよう注意する。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせる。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受ける。

- 本剤による中毒の治療法としては動物実験で硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤の併用投与が有効であると報告されている。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意する。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
- 散布の際は防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用する。また散布液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は身体を石けんでよく洗い、洗眼うがいをするとともに衣服を交換する。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払う。

■ 水産動植物に対する注意事項

- 水産動植物（甲殻類、藻類）に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

適用内容

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ブタミホスを含む農薬の総使用回数	
			薬量	希釈水量				
メロン 漬物用メロン すいか 漬物用すいか かぼちゃ	一年生雑草	定植・マルチ前 (雑草発生前)	200～ 400mℓ /10a		1回	全面土壌 散布	1回	
レタス なす		定植前又は定植・マルチ前 (雑草発生前)						
キャベツ きゅうり いちご		定植前(雑草発生前)						
ねぎ わけぎ あさつき		定植活着後 (雑草発生前) 但し定植10日後まで						
ばれいしょ さといも にんにく らっきょう やまのいも		植付後萌芽前 (雑草発生前)						
らっかせい にんじん パセリ		は種後発芽前 (雑草発生前)						
こんにゃく		植付後又は培土後 (雑草発生前) 但し収穫120日前まで						
たまねぎ		春播栽培の定植後 (雑草発生前) 但し収穫60日前まで						
		秋播栽培の定植後 (秋季の雑草発生前) 但し収穫60日前まで						
アスパラガス		萌芽前(雑草発生前)						
ピーマン とうがらし類		定植前 (雑草発生前)						200mℓ /10a
はくさい とうがん ブロッコリー ひろしまな								
うど		定植後出芽前 (根株養成圃) (雑草発生前)						200～ 400mℓ /10a
わらび		株養成期 (地上部なし) (雑草発生前)						
グラジオラス	植付後(雑草発生前)	200～ 400mℓ /10a						
きく (ポットマム)	定植後(雑草発生前)							
	アメリカネナ シカズラ	定植後 (雑草発生前期まで)				雑草茎葉 散布又は 全面土壌 散布		

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ブタミホスを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量			
つつじ類	一年生雑草	植付後又は生育期 (雑草発生前)	200～ 400ml /10a	100～ 150ℓ /10a	1回	全面土壌 散布	3回以内
たばこ (折衷マルチ栽培)		植付10日前まで (雑草発生前)	200ml /10a				1回
ケナフ		は種後出芽前	300～ 400ml /10a				1回

製品写真



最新の登録内容はこちら

